

1. 件名：標準応答スペクトルの取り入れに係る事業者等の対応状況に関する面談
2. 日時：令和4年10月24日 11時00分～11時30分
3. 場所：原子力規制庁 8階会議室
4. 出席者（※一部テレビ会議システムにて参加）

原子力規制庁

原子力規制部

原子力規制企画課 藤森企画調査官、佐藤係長

審査グループ

研究炉等審査部門 加藤上席安全審査官、望月安全審査専門職

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（JAEA）

安全・核セキュリティ統括本部 統括管理室 研究主幹 他2名

大洗研究所 高温工学試験研究炉部 部長 他2名

建設部 施設技術課 技術副主幹

## 5. 要旨

- JAEA から、資料に基づき、高温工学試験研究炉（HTTR）の標準応答スペクトルの取り入れに係る設置変更許可申請（令和3年11月15日申請提出）の審査への対応状況並びに施設への影響、工事の規模・見通し等について、現状の説明があった。
- 原子力規制庁から、JAEA に対し、以下の点について指摘するとともに、本件については今後公開の意見聴取会<sup>1</sup>において改めて状況を確認する予定であることから、当該会合に向けて準備を進めるよう、伝達した。
  - 標準応答スペクトルの取り入れに関する規制上の手続や対策については、継続的な安全性向上の観点から、引き続き遅滞なく進めること。
  - 耐震評価の結果補強工事が不要である場合の設計及び工事の計画に係る手続については、その要否も含めて改めて整理を行うこと。
- JAEA から了解した旨回答があった。

## 6. 資料：

- 「震源を特定せず策定する地震動」の導入に係る「設計及び工事の計画の認可」等の後段規制への経過措置について

以上

---

<sup>1</sup> 震源を特定せず策定する地震動(スペクトル)の規制導入の経過措置に係る意見聴取会